

会計決算を認定

歳出44億5728万3千円

循環センター建設と農業用排水路整備を推進

7822万円

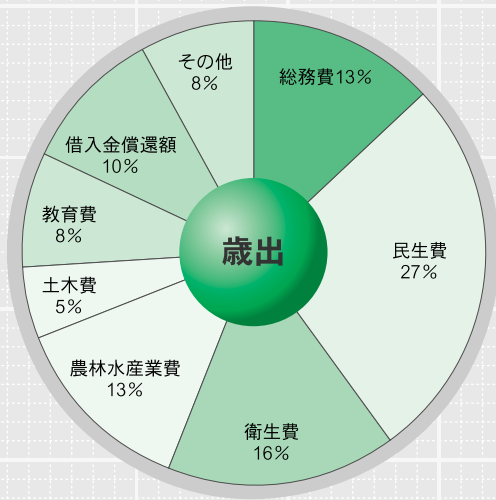
の特別委員会を設置して審議
決算を認定しました。

このうち有機資源循環事業と、大木
中学校大規模改修事業の費用3879万
4千円を平成18年度に繰越す。



昨年秋からの建設工事が終わり、生ゴミ回収が始まりました

歳 出



科 目	決算額	前年度との比較
総 務 費	5億9131万7千円	△23.3%
民 生 費	12億730万円	5.2%
衛 生 費	7億1829万6千円	48.4%
農林水産業費	5億7068万5千円	△21.5%
土 木 費	2億3013万6千円	△16.0%
教 育 費	3億7589万2千円	5.4%
借入金償還額	4億2213万9千円	△35.1%
そ の 他	3億4151万8千円	△3.6%
合 計	44億5728万3千円	△6.5%

(注1) △はマイナス

(注2) 千円未満は四捨五入

委員会の

審査報告 (概要)

第1 決算審査特別委員会

(総務常任委員会)

■ 町税の現年課税分の収納率は98.4%で、徴収努力がみえるが、滞納総額は約7447万円もあり、財源に及ぼす影響は多大である。滞納対策を最重要課題として徴収に努められたい。

■ 平成17年度に借金した額は4億6129万7千円で、財政の健全性を示す公債費比率も12.7%と依然、要注意線上にある。効率的に財源を活用するため、本年度設置された補助金等検討委員会で慎重な検討をお願いする。

■ 地域連絡調整推進助成金を見直し、削減した分は、住民の自治活動の資金に充てることを検討されたい。

■ 電算システムの共有化と経費節減が重要な課題である。

■ 住民自治の確立、業務の見直し、適材適所の人事、バランスシート導入による財政状態の把握、効率的な事務処理と予算執行に努められたい。

第2 決算審査特別委員会

(文教厚生常任委員会)

■ 県介護保険広域連合負担金は、介護給付費の増額とサービス利用者の増加により、前年度対比185万1千円増の1億1588万2千円。負担金を抑えるためには、要介護